まちの足あと

このコーナーは、町内で行われたイベントや活動、町民の皆さんの身近で起きたちょっとした出来事など、1カ月のまちの話題を紹介するページです。

それぞれの思い出を胸に旅立つ卒業式

3月1日に高等学校、13日、20日に小学校と中学校で、卒業式が行われました。

町内に唯一となった厚岸翔洋高等学校では、52人が高等学校の課程を修了し、通い慣れた校舎に別れを告げました。

町内の4校の中学校では91人が義務教育の課程を修了し、5校となった小学校では88人が学び遊んだ校舎を後にしました。

太田小学校の卒業式では、家族や在校生が見守る中、校長先生から3人の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。

送辞・答辞ではたくさんの思い出話や感謝の言葉に涙ぐむ姿も。在校生や保護者などから温かい拍手が送られ、それぞれの新しい生活に旅立っていきました。

ごみを海に捨てないで！環境問題学習会

2月28日、厚岸情報館で北海道大学大学院環境科学院の須貝洋海さんを講師に『海洋に投棄されるプラスチックが魚介類に与える影響』と題した環境問題学習会が行われ、約30人が参加しました。

海に流出したプラスチックごみは、海鳥やウミガメに影響を与えるだけではなく、細かくなったプラスチック粒子が泥を食べるゴカイやプランクトンを食べる貝にまで影響を与えていると研究で明らかになっています。

厚岸町の海洋生物には、今のところ細かくなったプラスチック粒子による大きな影響はありませんが、蓄積や濃縮されることで、いずれ影響が出てくる懸念があります。

須貝さんは、「私たちにできることとして、ごみを分別して捨てることや、ごみをなるべく出さないことが大事」と呼びかけていました。

9バンドが競演 サウンドコア・ライブ

2月21日、厚岸味覚ターミナル・コンキリエで『サウンドコア・ライブ』が行われました。

このライブは町内の音楽愛好家でつくる音楽集団サウンドコア実行委員会が主催し、今年で20回目を迎えました。厚岸翔洋高校軽音楽部や町内外のバンド9組が参加し、多彩なジャンルの演奏に、約270人の観客は大いに盛り上がりました。

カキDEござ～るで冬の味覚を堪能

2月22日、厚岸味覚ターミナル・コンキリエで『第16回カキDEござ～る』（カキDEござ～る実行委員会主催）が開催され、約1、600人が来場しました。

このイベントでは厚岸の冬の味覚を堪能することができ、恒例の40分間カキ食べ放題は1回20人限定で3回行われ、参加者はスタートの合図とともに黙々と焼きガキを平らげていました。

カキ・アサリ・ホタテ・ホッキ・ツブの5種類が入った『五えもん鍋』、厚岸翔洋高校の生徒が調理した『カキちり丼』と、『蒸しカキ2個』の3品200セットの販売は、あっという間に完売するほどの盛況ぶり。そのほか、雪中宝探しやカキつかみ取りなどのイベントが行われ、大人から子どもまで冬の厚岸を楽しみました。

悩みや不安を解決 女性の健康応援セミナー

3月21日、保健福祉総合センターで釧路赤十字総合病院産婦人科の米原利栄医師による『オトナ女子のための性教育』と題した健康応援セミナーが行われ、27人が参加しました。

女性特有の健康の悩みや、人には聞きにくい話などについてわかりやすく講演し、参加者は自分の体と向き合うきっかけとしていました。

カキのことなら任せて！牡蠣博士認定試験に挑戦

3月22日、あっけし牡蠣博士認定実行委員会が主催する第6回牡蠣博士認定試験が生活改善センターで行われました。この試験は、厚岸特産のカキについて勉強し、町の魅力を再発見するとともに、観光振興を目指して実施されている試験です。

今回は、町民をはじめ札幌、東京など全国各地から59人が受検しました。同実行委員会が作成したカキの歴史や生態、養殖技術、食文化などの問題が集まった『牡蠣博士認定試験問題集』から30問が出題され、正解率が8割以上で牡蠣博士と認定されます。

試験前日の21日には、厚岸の産業や文化、環境を学ぶスタディツアーも行われ、牧場での搾乳ロボット見学などを体験しました。

ホームクッキングリーダー養成講座開催

2月23日、地場産品を使った料理を学び『食』への意識を深めてもらう『ホームクッキングリーダー養成講座』が、厚岸味覚ターミナル・コンキリエで行われ、11人が参加しました。

ホームクッキングリーダー養成講座は『町民みな調理師にチャレンジ事業』の一環として行われ、1999年から毎年行われています。

この日は、厚岸味覚ターミナル・コンキリエ料理長の北田稔さんを講師に『プロの味と技を使った料理』の実習を行い、厚岸産のタラとアサリを使った『フィッシュ＆チップス』と『あさりの霧色スープ』を紹介しました。

この回を含めた2回の調理実習と食品衛生講習の修了者は『ホームクッキングリーダー』として登録されます。

[次へ] [前へ]